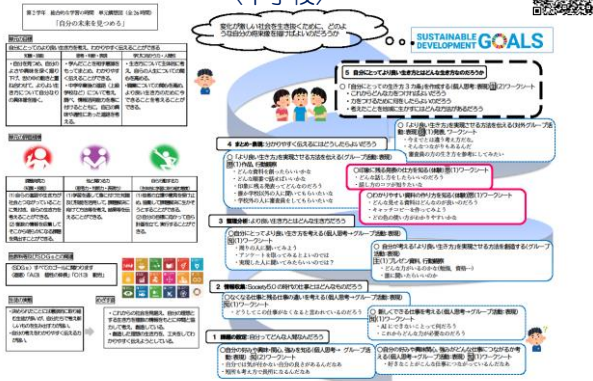
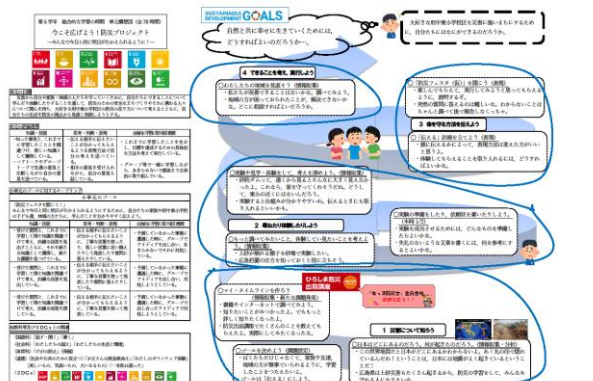


# 学びの視覚化

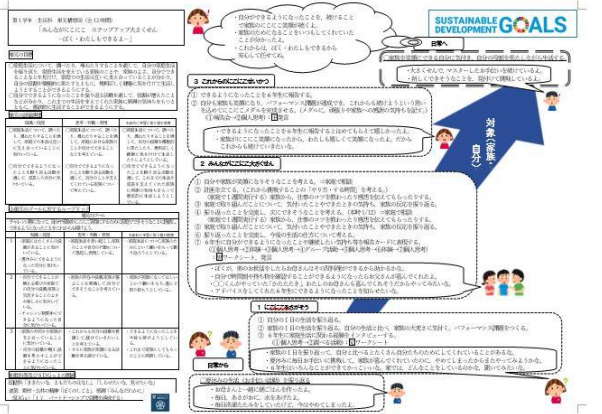
～～単元構想図の共通化～～  
 中学校区で、共通の単元構想図を使用  
 〈中学校〉



〈小学校：総合的な学習の時間〉

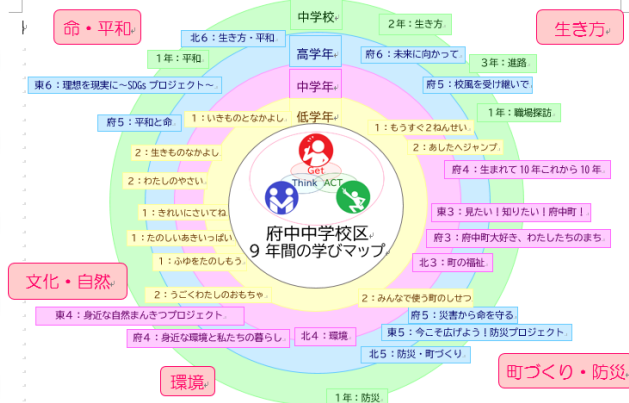


〈小学校：生活科〉



# 9年間の体系化

～～9年間の学びマップ～～  
 9年間の学びのつながりを図式化



単元のつながりを生かした中学校区での学び  
 同じテーマで中学生が学んでいると知った小学生が、オンラインで自分たちの企画についてプレゼン。小学生のプレゼンを聞いた中学生が内容やプレゼンのコツについてアドバイス。



防災について学んでいる小学生が、中学生が企画した避難所に避難者として参加。お互い気づきを次の学びに生かす。



4校合同研修会

マップをもとに4つのテーマに4校の先生が分かれ、各校の取り組み内容や課題、単元の構成についてアイデア交換。また、お互いの校内研に参加し、意見交換。



探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業  
 (令和3年度～令和5年度)

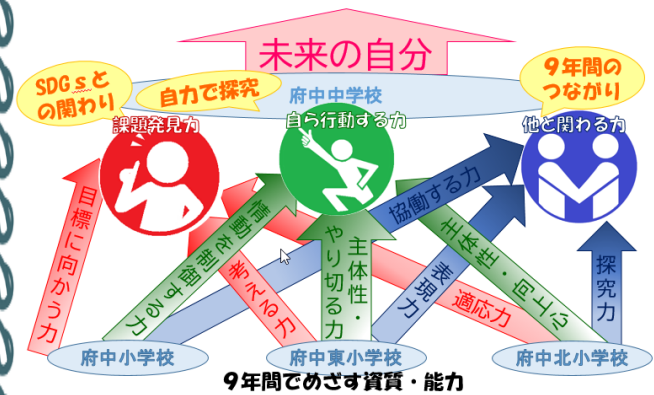
# 府中中学校区9年間の学び

府中中学校 府中小学校 府中東小学校 府中北小学校

主体的・対話的で深い学びの創造  
 ～探究的な学習のカリキュラム開発・実践・連携～

# 資質・能力の共有化

～～中学校区の資質・能力関連図～～



～～中学校卒業時に目指す姿～～

この姿をもとに各単元でルーブリックを作成

<p><b>Get: 課題発見力</b></p> <p>問いを持つ/知識・技能を身につける (知識・技能)</p>	<p>学習したことと地域社会の状況を自分事として関連させ、課題を見つけることができる。</p>
<p><b>Think: 他と関わる力</b></p> <p>自己表現する/考えを深める (思考力・判断力・表現力)</p>	<p>仲間と協働して思考を深め、考えたことを論理的に表現することができる。</p>
<p><b>Act: 自ら行動する力</b></p> <p>自己決定する/より良い策を見つける (主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>目標達成に向け、粘り強く挑むことができる。</p>

# 「ぐんぐんデー」による学びのアウトプット



## 目標に向かう力 他者と協働する力 情動を制御する力

- 1. 自身の学習の進捗を確認する。
- 2. 他者の進捗を確認し、自分の進捗と比較し、自分の進捗を向上させる。
- 3. 他者の進捗を確認し、自分の進捗と比較し、自分の進捗を向上させる。
- 4. 他者の進捗を確認し、自分の進捗と比較し、自分の進捗を向上させる。



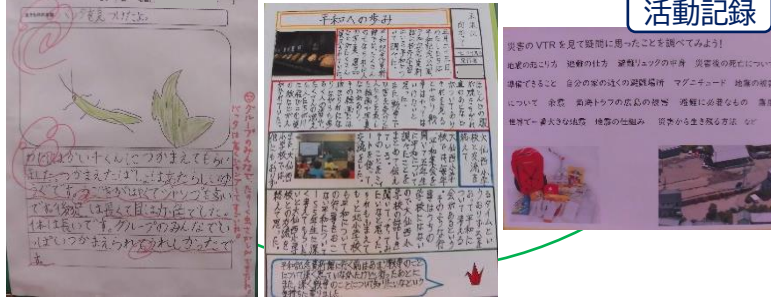
子どもと共有するルーブリック 仲間と学びを深める 自分で学びを選択しやり抜く

# 府中小学校 府中北小学校 各校の取り組み

## 学びのあしあと（生活・総合） 学習のゴールや方向性の視覚化



## 学習の成果物 活動記録



# 主体的な学習につながるルーブリック (めあてと関連付けて)

本時のルーブリック (関連する資質能力)	
	思考力・判断力・表現力等 (関連付けて考える力・伝えるように表現する力)
S	・他のグループからもらったカードと自分たちの発表資料は発表方法を関連付けて、互達の意見を受け入れながら、自分の意見も根拠や具体例を明確にして表現している。
A	・他のグループからもらったカードと自分たちの発表資料は発表方法を関連付けて、自分の意見を根拠や具体例を明確にして表現している。
B	・自分の意見を根拠や具体例を明確にして表現している。

めあて B もらったカードとよりよくくらべて、これからどうすればよい発表資料をグループワークとしてみつくりたい。  
A もらったカードとよりよくくらべて、これからどうすればよい発表資料を。

## 柔軟に運用する単元計画



# つける力と学習計画



## 建設的な話し合いのための手立て

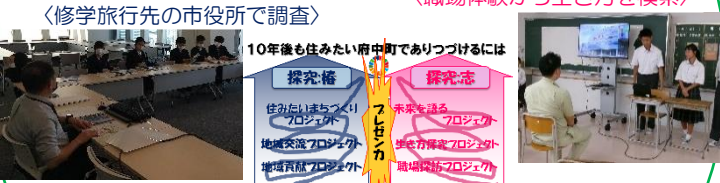
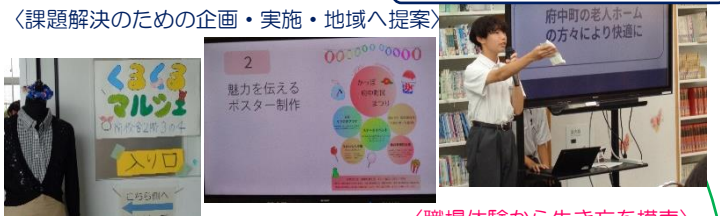


**参加者の声**

- \*小学校3校の学びが、中学校での学びの多様性につながっているのが嬉しかった。子供たちの経験や思いから、学び方を柔軟に変更できるようにしていきたい。
- \*児童生徒自身に9年間の学びのつながりを意識させることも大切だと感じた。自校のみでなく外部と連携して生徒の学びにつなげたい。
- \*小中の学びを児童生徒の交流により繋いでいくことができれば、より主体的に自分事へとつながっていくものになっていくかと思う。
- \*目的や目標が明確になっていけば、クラスによって多少の活動の変更があってもいいことを知ったので、しっかり子供たちと話し合いながら活動を進めていきたい。
- \*「子供たちだからできること」という視点を教えていただいた。総合的な学習の時間以外でも活用したい。
- \*達成感だけでなく新たな課題を見つけさせることが、次の学びにつながる大切なことなのだと思ふ。
- \*今後の実践予定も交流出来たら、今後の授業に活かして、児童に還元されるのではないかと。また、中学校との連携の話があり、中学生に発表を聞いてもらうなど、取り入れた。
- \*児童の思考に沿って、単元計画を柔軟にとらえるということが学びになった。児童の思考の丁寧な見取りと、学年でのこまめな情報交換が必要だと感じた。

# 府中東小学校 府中中学校

## 3年間の学びのつながり



# 成果

- \*ルーブリックの活用などについて、総合的な学習の時間から他教科などに広がっている。
- \*めあてとルーブリックを関連付けことができ、自分たちで考えためあてで学習を進めることができ、授業終了時にめあてが焦点化された。次にめあて自分の姿をイメージする児童が増えてきている。
- \*児童と共有したルーブリックなどを視覚化することで、教職員も児童もいつでも見直すことができ、めあてゴール像からぶれないで学びを深めることができた。
- \*指示待ちの姿勢が目立つ児童が多いクラスだったが、自分たちで話し合い、企画し、実行しようとするようになった。総合的な学習の時間だけでなく、学校生活全般に効果が波及している。

# 課題

- \*教職員で児童に身に付けさせたい資質・能力について考え、共有することで同じベクトルで指導できるように意識統一は行ったが、活用という点においてはまだまだ不十分などがある。
- \*新たな課題を見つけるのに時間がかかった。解が1つではない「本質的な問い」について、児童と一緒に考えたり、教師の考えを示したりしていなかったことが原因ではないか。「本質的な問い」について、児童と一緒に考える計画を立てている。
- \*「NIE」を取り入れた授業実践を検討中。「探究的な学習」や「深い学び」と結び付け、授業への取り入れ方など今後学んでいく必要がある。

〈小中共通人材バンク〉の作成  
学びの中で関わりのあった地域の方々を小中で共有。

探究の深化を支える